

高砂熱学グループ 長期ビジョン2040

Create our PLANET, Create our FUTURE

2023年5月12日

高砂熱学グループ長期ビジョン 2040の策定にあたって

今般、当社を取り巻く事業環境は劇的に変化しています。足許では、世界情勢をうけての資機材不足、為替影響や人手不足による建築工程の遅延、労務費高騰などが懸念されております。また、日本政府が発表した「2050年カーボンニュートラル宣言」によって、より一層、脱炭素社会の実現に向けて各企業が、カーボンニュートラルやESGへの取り組みを加速させており、長期的な視点では、“2040年”が人口問題や気候変動問題による社会構造の大きな転換点であると予測しています。

このような事業環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、多様な価値観を活かして、高砂熱学グループが、持続的な成長と付加価値を創出するためには、当社の社是「人の和と創意で社会に貢献」を原点に、当社グループに集う全ての人たちの心の拠り所が必要であると考え、自らのパーパスを『環境革新で、地球の未来をきりひらく。』と定義しました。

「高砂熱学グループ長期ビジョン2040 Create our PLANET, Create our FUTURE」の策定にあたり、2040年にどのような姿であるべきか、株主・投資家の皆様、お客様、取引先、協力会社や社員といったすべてのステークホルダーのエンゲージメント向上の観点で議論してまいりました。その結果、当社グループは、これまでの空気調和の技術を核としながら、環境創造の事業領域を拡げ、役職員一人ひとりが、環境クリエイターとして、社内外の多様な人財と高め合いながら常に挑戦を続けていき、ビジネスパートナーと環境価値を共創する企業像を導き出しました。

そして、これからの社会変化を踏まえ、空調設備事業を核として、①建設事業、②設備保守・管理事業、③カーボンニュートラル事業、④環境機器製造・販売事業の4つの事業ドメインをDXで連携し、目指す姿を実現する企業グループへ変革していきます。高砂熱学グループ長期ビジョン2040を、市場環境の成長や投資回収時期等の観点から、3つのフェーズで着実に進めていき、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

2023年5月12日

小島 和人

Confidential

Copyright © Takasago Thermal Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.



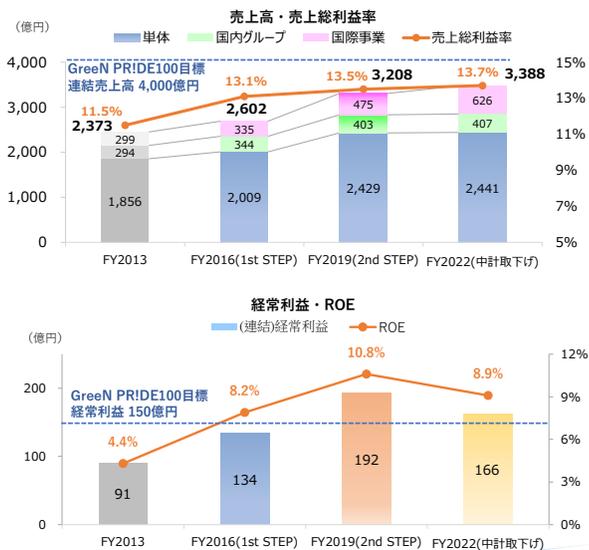
環境クリエイター TakasaGo!
高砂熱学

長期経営構想 GReeN PR!DE100 振り返り

GReeN PR!DE100 (2014年度～2023年度) の振り返り

経営戦略の方向性	実績・取組み
「リニューアル・メンテナンス重視」へ積極的な転換	<ul style="list-style-type: none"> TMES (旧丸誠) とのワンストップサービスの展開
海外マーケットでの既存市場深耕・新しい市場開拓への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ICLEAN社の株式取得、連結子会社化 タカサゴ・メキシコ設立
顧客満足度向上のため「顧客密着型営業」スタイルへ転換	<ul style="list-style-type: none"> 全社最適受注の展開
新しい事業領域進出のためM&A、アライアンスを積極活用	<ul style="list-style-type: none"> 事業領域拡大に向けた資本・業務提携の実施 PFI事業 (マイクログリッド事業運営) の子会社設立

 ESG・カーボンニュートラルへの取り組みの重要性が増す状況を好機に捉え、脱炭素に向けた環境事業、ならびに競争力の源泉である人的資本への投資を加速推進中



(注) 売上高のセグメント間取引については、相殺消去している。

Copyright © Takasago Thermal Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved. Confidential 100 環境クイーター TakasaGo! 高砂熱学 2

長期経営構想 GReeN PR!DE100では、建設工事のワンストップサービスや顧客に密着した全社最適受注の展開等が奏功し、経常利益は、長期経営構想のスタート前の2013年度 91億円から、2022年度 166億円 (+75億円) まで向上。

また、当社創立100周年の先を見据えた将来への成長に向け、国際事業の収益拡大・安定化を目指したM&Aの実現や環境技術を活かした新規事業への投資を実施。

100年の変革の軌跡と当社グループの強み

産業や社会の基盤を支える存在として、『空気調和設備』を中心に事業を展開し続けてきました。

創業と成長



初代社長
柳町政之助



日本初の
シロッコファン



日本初のターボ冷凍機

挑戦と発展



革新的な成層空調システム
SWIT

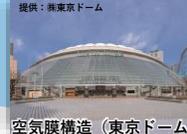


日本初産業用の
クリーンルーム

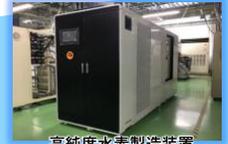


産業用電池製造向け
ドライルームシステム

開発と躍進



提供：東京ドーム
空気膜構造（東京ドーム）



高純度水素製造装置
Hydro Creator®

そして百年



施工プロセスの変革
T-Base®プロジェクト

技術資料がない時期に自らの設計・施工経験より導き出した技術を纏め、国内初の先駆的な『空気調和技術』を確立

100年で培ってきた高砂熱学グループの強み

時代の要請・社会変化に応じて変革しつづける力

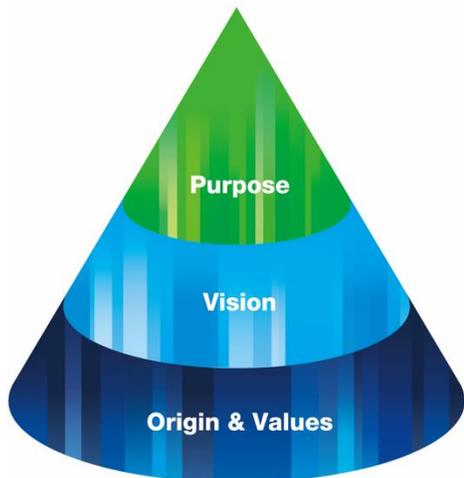
技術		人財		バリューチェーン	
環境技術	エンジニアリング力	現場力	専門性	既存顧客の施工実績	協力会社とのパートナーシップ

高砂熱学は、1923年に高砂煖房工事株式会社としてスタート。
技術資料がない時期に自らの設計・施工経験より導き出した技術を纏め、
「空気調和技術」を確立してきた。

100年の歴史のなかで培ってきた『時代の要請や社会変化に応じて変革しつづける力』を強みと認識し、産業や社会の基盤を支える存在として『空気調和設備』を中心に事業を展開。

高砂熱学グループのパーパスと理念体系

創立100周年の節目に、高砂熱学グループに集う全ての人たちの心の拠り所となるパーパスを策定※



Purpose

存在意義

環境革新で、
地球の未来をきりひらく。

空気を調和する。そこから生まれる無限の可能性がある。
高砂熱学は、一人ひとりが百年の歴史から受け継いできた
技術と誇りを胸に、人の和で多様性と共創の輪をひろげていく。
空間環境を創造し、地球へ、そして宇宙へ。
あらゆる環境革新をリードしつづけます。
私たちと家族、世界中の人々の笑顔、すべての生命とともに。

Vision

目指す姿

環境クリエイター®

Origin 社是

すべての原点

人の和と創意で社会に貢献

Values

価値観・行動指針

TakasagoWay

Beyond : 期待以上の価値を提供する

Pride : 正々堂々とやり抜く

Trust : 人との縁が財産

※ 全社員アンケート・オンラインディスカッション、パーパス策定ワーキンググループや
経営陣とのディスカッションなど、全社員参加型の施策を通じて策定。

Confidential



環境クリエイター Takasago!
高砂熱学

4

当社の創立100周年の節目に、高砂熱学グループに集う全ての人たちの心の拠り所となるパーパスを策定。

策定プロセスは、社員の主体的な参加を主眼とした様々な施策を組入れ、当社の存在意義について検討を重ね策定。

高砂熱学グループは、パーパスをステークホルダーの皆様とも共有し、事業を通じて社会課題の解決に挑戦を続ける。

高砂熱学グループが貢献する未来社会課題

未来に向けて、社会課題解決のため「建物環境のカーボントランジション」と「地球環境のカーボンニュートラル」に取り組みます。



建物環境の カーボントランジション

課題

- ・建設過程でのCO₂削減
- ・建物運用の環境負荷低減
- ・産業・都市インフラの整備・維持

潜在的な市場規模

- ・建物の省エネ・省CO₂に貢献するための建設設備・リニューアル[※]市場
→累積完工高9.2兆円(2023年3月期迄)

※リニューアル：建設設備工事の更新など

未来

2050

日本
カーボンニュートラル

2040

社会のグレート・リセット[※]
民間企業のCO₂排出ゼロ目標

2030

SDGsの達成期限

2023

現在



地球環境の カーボンニュートラル

課題

- ・エネルギーの安定供給と脱炭素化の両立
- ・CO₂排出ネットゼロの実現
- ・地産地消の資源利用の循環社会実現

潜在的な市場規模

- ・脱炭素先行地域：46 エリア
出所：環境省HP 第2回までの脱炭素先行地域の選定数計
- ・水素（アンモニア等含）供給網へ官民あわせ
今後15年間で15兆円投資計画検討
出所：経済産業省HP 水素社会実現に向けた政策の骨格（案）

※ グレート・リセッターダボス会議2021年より、社会や経済などあらゆるシステムを見直し、世界がより良いシステムとなること

Confidential



環境クリエイターTakasaGo!
高砂熱学

5

日本政府が発表した「2050年カーボンニュートラル宣言」を受け、企業は脱炭素社会実現に向け、より一層のカーボンニュートラルやESGへの取り組みを加速。

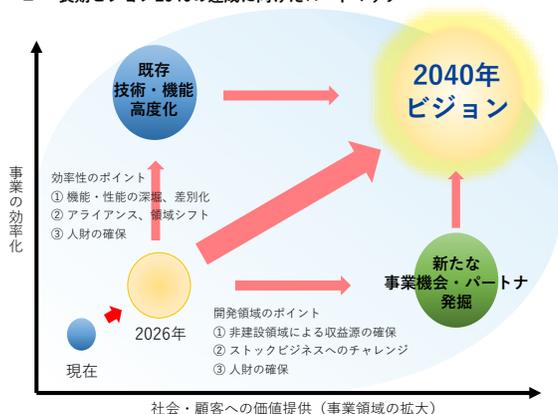
2040年が、人口問題や気候変動問題による社会構造の大きな転換点であると予測し、未来社会の課題解決に注力することが、高砂熱学グループが果たすべき役割と認識し、「建物環境のカーボントランジション」と「地球環境のカーボンニュートラル」に取り組む。

高砂熱学グループ長期ビジョン2040で目指す姿と4つの事業ドメイン

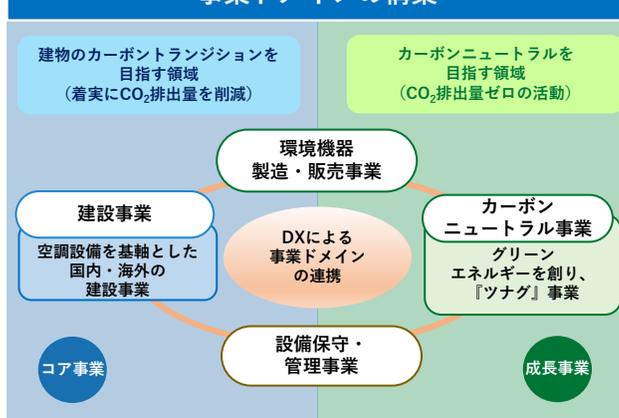
高砂熱学グループ 長期ビジョン2040 Create our PLANET, Create our FUTURE

これまでの空気調和技術を基軸に環境創造の事業領域を拡げ、従業員一人ひとりが社内外の多様な人財と高め合い、**環境クリエイター®**として常に挑戦し、ビジネスパートナーと環境価値を共創する。

■ 長期ビジョン2040の達成に向けたロードマップ



事業ドメインの構築



パーパスのもと未来社会の課題解決への貢献に向け、高砂熱学グループ長期ビジョン2040を策定。

空気調和の技術を基軸に環境創造の事業領域を拡げ、従業員一人ひとりが社内外の多様な人財と高め合い、環境クリエイターとして常に挑戦し、ビジネスパートナーと環境価値の共創を目指す。

長期ビジョン2040達成に向けて、事業の効率化と社会・顧客への価値提供を拡げていく。(事業領域の拡大)

また、長期ビジョン2040における事業ドメインとしては、コア事業である①空調設備を基軸とした国内・海外の建設事業、②設備保守・管理事業、③環境機器製造・販売事業、そして成長事業として④グリーンエネルギーを創り『ツナグ』カーボンニュートラル事業*の4つのドメインを構築し、DXにより連携。

100年間培ってきた技術を基に、建物環境におけるカーボンニュートラルを実現していく。また、空気調和技術の高度化の過程で、エネルギーの利活用拡大を目的に水素利用技術の開発を継続してきた。

蓄積した経験、ノウハウ、ならびに社内外の多様な人財と連携し、お客さまや地球環境に貢献するカーボンニュートラル事業の構築を目指す。

※グリーンエネルギー（電気・熱・水素）を「つくる・ためる・つかう」を『ツナグ』ことにより、お客様のカーボンニュートラルに貢献。

長期ビジョン2040実現に向けた3つのフェーズ

「未来への船出の4年間」、「成長実現の4年間」、「飛躍の10年間」という3つのフェーズを経て、長期ビジョン2040の実現を目指します。

高砂熱学グループ 長期ビジョン2040 Create our PLANET, Create our FUTURE



長期ビジョン2040は、3つのフェーズで進める。

第1フェーズ（2023～2026）は、“未来への船出の4年間”と位置づけ、コア事業（建設事業）の収益基盤を盤石なものとし、得られる資金を事業領域の拡大に向けた成長投資を実施。

第2フェーズ（2027～2030）は、“成長実現の4年間”と位置づけ、海外事業の伸長、DXによる新たな付加価値の創造やカーボンニュートラル事業の収益化を目指す。

そして、第3フェーズ（2031～2040）は、“飛躍の10年”と位置づけ、カーボンニュートラルに資する新たな事業セグメントを確立する。

これらの3つのフェーズを通じて、第1フェーズの2026年度は経常利益200億円、第3フェーズの2040年度は、400億円以上を創出する企業グループへの変革を目指す。

Confidential
Copyright © Takasago Thermal Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.



環境クリエイター TakasaGo!
高砂熱学

将来予測に関する注意事項

この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。



環境クリエイター TakasaGo!



Copyright © Takasago Thermal Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.